

フード変更についての注意点



近年フード市場の拡大につき、様々なフードが陳列されていますが、何が違うのか、何が良くて何が悪いのか…悩んでしまう方が多いと思います。

元来、ワンちゃん・ネコちゃんは肉食動物。たんぱく質摂取量をしっかりと確保し、がん細胞が栄養としやすい炭水化物（正確には糖質）を制限したドライフードを与えていただくことが、ワンちゃん・ネコちゃんの健康に繋がると、モノリスは考えております。

一番良いのは完全手作り食ですが、どうしてもそれが難しいという方は、是非このフードの選び方を参考にさせていただき、少しでも体に負担のかからないお食事にしていただけたら幸いです。

ただし一点ご注意いただきたいことがあります。

「フードを変えたり手作り食に変えたら食いつきが悪くなってしまい食事を食べなくなってしまった・・・」、
「フードを変えたら体質に合わないのか下痢をしたり体調を崩してしてしまった・・・」などフードを変えたことが原因でワンちゃん、ネコちゃんの健康に影響が出てしまった時には今までのフードに戻して体力回復を優先させてください。

フードの選び方

選び方① 添加物が入っていないか

パッケージ裏面の原材料を見てください。酸化防止剤（BHA、BHT、没食子酸プロピル等）や着色料、pH調整剤などの記載はありませんか？

いくら少量と言えど、体に有害なものが含まれたフードを毎日食べていけば、多少なりとも体には負担がかかります。少しでも体の中に有害なものを入れられないようにすることは、免疫を高める手助けにもなります。

選び方② 穀類が入っていないか

穀類は高炭水化物です。また、ワンちゃん・ネコちゃんは人間と違い、しっかりと噛み砕いてから飲み込むことが少なく、消化管も比較的短いため、穀類の消化が苦手です。

がん細胞に栄養を与えてしまうだけでなく、消化管に負担がかかることで無駄なエネルギーを使ってしまう。

近年は穀類不使用のフードも増えていきますので、ホームセンター等で探してみてください。（グレインフリーと書かれているものが多いかと思います）

選び方③ 成分表示を見る

モノリスでは「低炭水化物・高たんぱく質食」を提唱しておりますが、殆どのフードには炭水化物含有量は記されていません。これは AAFCO（ペットフードの栄養基準、ラベル表示などに関するガイドラインを設定している団体）の基準に炭水化物の基準がないためだと考えられます。

ただし、たんぱく質については表示が義務化されていますので「粗たんぱく質」を見比べてください。含有量としては最低でも、ワンちゃん：30%以上、ネコちゃん：35%以上のドライフードを選んでください。どうしても炭水化物の含有量が知りたい！という方はフードの成分表示の割合をもとに計算していただくとおおよその量がわかります。

$$\text{炭水化物含有量(\%)} = 100 - \text{水分(\%)} - \text{タンパク質(\%)} - \text{脂質(\%)} - \text{灰分(\%)}$$

以上、ドライフードの選び方を3つ記しましたが、基本的に③に書いたように高たんぱく質のドライフードであれば、大抵のものは穀物不使用、添加物不使用です。

裏面の「おすすめのフードメーカー」を参考に、楽しくフードを選んでみてはいかがでしょうか。

【ACANA】

<http://www.acana.net/>



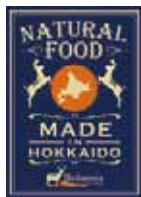
アカナはカナダ最高品質かつ新鮮な地元産原材料を使用し、数々の賞を受賞して

いる自社キッチンで製造されたフードです。

自然な環境で食べる新鮮な丸ごと肉の量と、バラエティ豊かな食事を再現する一方、自然な食事に含まれない高GI穀類と植物性たんぱく質は一切使用していません。

【Britannia】

<http://www.britannia.jpn.com/>



ブリタニアは北海道白糠産野生エゾ鹿肉のみを使用し、他の原材料も北海道産で厳選した新鮮なものを使用し、低温乾燥することで栄養素を壊さないように

作られたフードです。

エゾ鹿肉を用いたオヤツや、生食用のお肉、手作り食のサポートとなるお野菜の粉末等も取り扱っています。

【Holistic Blend】

<http://www.holisticblend.jp/>



Holistic Blend

ホリスティックブレンドはカナダのホリスティックペット

フードメーカーで、原材料は全てカナダ、米国、ニュージーランド産のものを使用しています。AAFCOの食肉用ガイドラインを満たすだけでなく、さらにそれを上回る基準で作られています

【K9Natural】

<https://www.k9natural.jp/>



K9ナチュラルは肉類だけでなく野菜と果物にも、安全なニュージーランド産を使用したフードです。

一般的なドライフードと違い、非加熱フリーズドライ製法で作られているので、生の原料に含まれる栄養素をそのまま残すことができ、更なる栄養の吸収を促す、ペットにとって重要な酵素・乳酸菌などをそのまま活かすことができます。

【Merrick】

<http://www.merrickpetcare.com/> (海外ページ)



日本に上陸したばかりなので馴染みがないかもしれませんが、全米では顧客満足度 No.1 を獲得

しています。

副産物を一切使用していない安全安心なヒューマングレードのものを使用しており、契約農場以外の原料は使用していません。

【Orijen】

<http://www.orijen.net/>



アカナ同様、カナダ産の最高品質かつ新鮮な地元産原材料を使用して、数々の賞を受賞している自社キッチンで製造されています。

動物性たんぱく質の割合が多く、ペットたちの食の原点を追求したフードです。

【WYSONG】

<http://wysong.jp/>



ワイソンはアメリカ産のフードで、人間用の材料のなかでも良質な最高レベルの家禽肉と内臓肉を使用しています。

世界初の糖質フリーのドライフードを製造しており、独自開発のパッケージで製品の鮮度を保っています。

ドライフードの場合、粗タンパク質がワンちゃん：30%以上、ネコちゃん：35%以上のフードをおすすめします。こちらのフードメーカーの製品は、ほぼ基準を満たしています。(ご購入の際には粗タンパク質量をご確認ください)

おすすめ
フードメーカー